

働くが遠くに感じるあなたへ

就労準備支援事業所

わかごぼう

No127

奇跡の一投！白熱のモルック体験

この日の活動はフィンランド発祥のス
ポーツ「モルック」を行いました。開催さ
れるのは今回が二回目となります。モルッ
クは、木の棒を投げてピンを倒すというシ
ンプルなルールながら、ボウリングのよう
な爽快感と、カーリングのような戦略性
を併せ持つ奥深いスポーツです。

外で活動するには少し寒い季節でした
が、そんな寒さも吹き飛ばすほど熱い試合
が繰り広げられました。

今日はメンバーが持つてきてくれたモ
ルックを体験しまし
た。参加人数が多
かったため、二チー
ムに分かれての対戦
です。私は後攻チー
ムの一番手だったの



ですが、経験者のメンバーが先に投げてい
るのを見て参考にできたので、少し助かり
ました。ルールはボウリングとダーツを
合わせたようなスポーツだと感じました。
前半はピンを勢いよく弾いて本数で稼ぎ、
中盤は大きな点数のピンを狙い、終盤は目
標スコア（五十点）ぴったりになるよう調

整するという戦略性があります。思い
のほかまとめて倒すのが難しく、意図
せずピンポイントで当たってしまった
りと苦戦しましたが、とても楽しかつ
たです。

・初めてのモルックをしました。始めは
ほんわかした雰囲気でしたが、プレイ
が進むにつれて面白さが分かり、楽し
くなっていました。イメージしてい
たよりも実際にやってみるとギャップ
があり、「何事もやってみる、試してみ

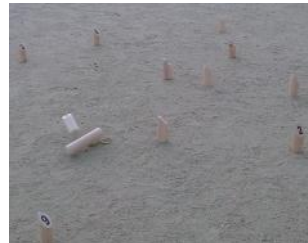


る」ということ
がとても大事だ
と改めて感じま
した。後の人の
ことを考えたり、

点数や配置を計算して相手を邪魔した
りと、いろんなことを想定してプレイ
するのが楽しく、奥深かったです。投
げる順番によって景色や感覚が違った
のも面白く感じました。また遊びたい
と思いました。

・今日はわかごぼうで二回目となるモ
ルック大会でした。正直、私も一年ぶ

りで不安でしたが、なんとか勘を取り
戻し、一ゲーム目はチームメンバーの
力を借りて勝つことができました。二
ゲーム目は惜しくも負けてしまったの
ですが、スタッフさんの采配で「最後
に激ムズのピンを倒したら勝ち」とい
う展開に。私は緊張して失敗してしま
いましたが、チームメンバーの一人が



日本代表さながら
のフライングプレ
イでピンを倒し、ス
タンディングオー
ベーションが巻き
起こる素晴らしい

幕切れとなりました。久々にみんな
で体を動かすことができて嬉しかったで
す。また機会があれば遊びたいです。

・やり方もルールもわからない状態か
らのスタートで不安でしたが、みんな
とプレイしているうちに少しずつルー
ルを覚えていきました。最初はあまり
上手にはできなかったのですが、最後
の方はちょっと上達できたかな？と思
えたので楽しかったです。

「遊ぶために働く」疑似社会体験で見つけた、幸せな働き方のヒント



ていました。遊ぶために働くという循環が成立しており、その仕組みが面白いと思いました。私自身も仕事に対して「時間を切り売りする感覚」ではなく、楽しみを見つけられるような働き方ができたら幸せだと思いました。

・今回、子どもの「遊ぶ権利」を大人が真剣に考え保証することを目的に開かれたイベント「PLAY DAY」に、ボランティアスタッフとして参加させていただきました。事前研修では、活動に込め



られた思いや、子どもの権利についてのレクチャーがあり、スタッフ一人ひとりが子どもの権利を知り、大切にしたいことを共有した上で当日を迎えました。

イベントの仕組みは、ハローワークで仕事を探し、働いて「ライツ」というお金を稼ぎ、そのお金でまた遊びに行くという、現実の社会を模した世界観になっ

ふたつ目は、小学生の三人組が家を作りたいと言って参加してくれました。長時間の作業で疲れたのか、途中で一人の子が「もう諦めよう」と言いました。その子が家の中の机を作ったり、自分の考えた階段を作ろうと一生懸命取り組んでいた姿を知っていたので、「諦めずに一緒にしようよ」と言いました。普段の私なら、諦めも肝心と思いますが、子どもの頃から簡単に諦める経験を積ませていいのかな、と思いました。

結果的に、最後まで完成させられて良かったし、色塗りまで楽しんでたみたいで良かったです。諦めることが必要な場面もある、ということも私は経験から知っているのですが、子どもの前でどんな姿勢を見せたら良いのか、難しさも感じました。

課題点としては、子どもとの向き合い方です。友達同士でやりたいことが違い、ひとは色塗りをしたいけど、もうひとは別の遊び場に行きたいという状況がありました。遊びたい子がただ待た

なくなってしまつて、機嫌が悪くなつてしまいました。子どもの気持ちにどう寄り添えば良いのか、どんな言葉を掛けたら良いのかわからない場面があり、それは自分にとっての課題です。

しかし、子どもたちはできあがった作品を見せてくれたり、「今日のこと日記に書く!」と言ってくれたり、学校のこたや普段の生活を楽しそうに話してくれたりして、嬉しかったです。子どもたちのエネルギーに触れるたび、こちらまで幸せな気持ちになりました。イベントが終わる頃には、子どもたちが段ボールで作った作品が集まり、色彩豊かな小さな街が一日で完成していました。小さな美術館のようで、子どもたちの感性があらわれていました。自分が子どもと一緒に作ったものも並んでいて、目に見えて形になった光景を見て嬉しかったです。一日このボランティアに携わることができて本当に良かったと感じた瞬間でした。

メダルが増えたり減ったりの日

今日は以前より起案があつた

「千円分のメダルをゲームでどれだけ増やせるか」を近くのゲームセンターで実施してきました。

参加メンバーがもつと多い予定でしたが、当日の体調不良者が多く結果二名の参加となり、メダルを二時間でどれだけ増やせるかは二人の腕にかかりました。

・色々調べて返ってくる倍率の高い釣リスピリッツをやりました。波に乗れたら一気に50枚くらいもらえましたが下火になると割高な竿でやってるのにも関わらず雑魚を釣り、その上ライン切れまでする始末。浜鍋回の富井副部長の気持



ちが少しわかった
気がする。あとこのゲーム単純にめちゃくちゃ疲れる
んすよね。何回か
やったら腕が痛く

て…ボスが周期的に来るのでその間まで休んでいたりました。

・十何年かぶりのメダルゲームは、自分

がやったものと変わっていないものもあつたり、ずいぶんゲームのスタイルが違つものもあつたりで、懐かしさと新鮮さ両方を味わえました。

千円分のメダルは百枚。二人で分けて



一人の初期メダルは五十枚でスタートしました。最初に触れたゲームは最新？のシステムを把握しきれず、減る一方でした、

たが、少しずつ理解して現状維持か少しプラスにもできた時間もありました。

しかし、それ以上増やすことはできず、メンバーの勝ち分を少し譲ってもらつた分

もむなく無くならず、
四十分ほどですつから
かに。

増やすことはでき

ませんでしたが、楽しむことができました。



子ども時代の遊びが今も進化し続けているという驚き

コインゲームも粘つてはみたが思いの外早く終わつてしまいたい時間が余つてしまつたのでこの後に自分が趣味としている大会があるのでデッキを二つ持っていたので試しにデュエルマスターズを



プレイしてみないかと提案した。メンバーはポケカの際でも慣れていたので軽く説明して最初はお互いの手の内を見せない

がらプレイした。飲み込みが早い…相性や手札の状態もあるけどこんなにあっさり倒されるとは…

今度はこちらが使っていたデッキを貸してプレイしてみた。勝つてしまった。

再びデッキチェンジをして今度は付度なしに本気でプレイしてみた。

惨敗である。ドウシテ…ドウシテ…

でも思いの外楽しんでいただいたり、これよりも強いデッキがゴロゴロいるという話をしたら驚かれていたのでやっぱ

リインフレ加速してんなあと再確認できました。このゲーム始める分には今公式から五五〇円で強いデッキがあるのでオススメはできます。が、いかにそこから凝るようになると平気でSwitchくらいの値段がかかるゲームなのであんまり人に勧めにくいのが玉に瑕ではあります。

・これまた何年ぶりに触るだろうかというカードゲーム。ルール自体は変わらぬものでしたが、小学生時代にせつせと集めていた時期のものとはずいぶん様変わりしていて、テキストやイラストを見るだけでも楽しいものでした。

知らない効果やデッキコンセプトを教えてもらい実践。人と対面しながらゲームすることの楽しさを思い出せたり、ルールなど色々覚えてるものだと自分の子供時代の記憶の色濃さに驚きました。

子供時代に遊んだもので、今も残つて進化しているものに触れていけた、楽しくいい体験ができました。

就労準備支援事業
わかごぼうってどんなところ？

「働きたいけれど、今すぐ働くことはむずかしい」

そういった悩みを抱える人が集まり、
わかごぼうでの活動を通して、**働くための準備**をする場所です。

どんな人が参加しているの？

働きたいけど不安がある

生活リズムが乱れている

お仕事や学業から離れている

ブランクがあって不安がある

少しずつ社会参加を目指したい

コミュニケーションが苦手

様々な悩みを抱えている方が参加しています。

わかごぼうに参加することで

人と話す練習ができる

人との繋がりができる

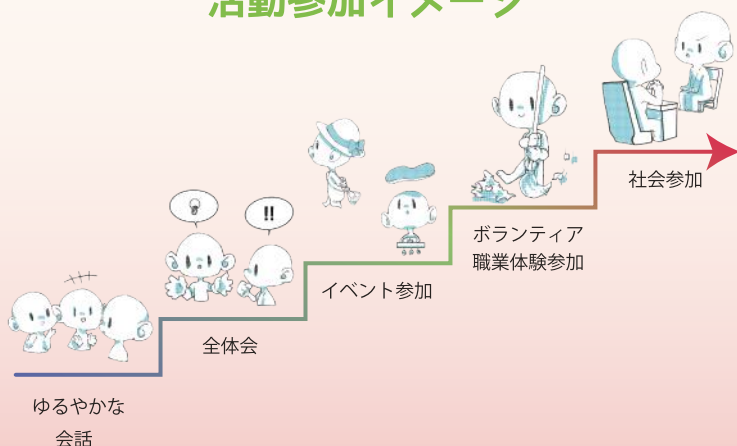
失敗を恐れず挑戦できる

自分を変えることができる

お問い合わせ・参加申し込みは

072-973-6210 までご連絡ください。 受付時間：9:00-17:00（祝日除く月～金）

活動参加イメージ



※ステップアップする期間は利用者毎にペースが違います

開催場所:わかごぼう 八尾市南本町7-6-23
※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨